

平成 30 年度事業報告

内閣府によれば、平成 30 年度の我が国経済は、緩やかな回復が続き、設備投資が増加や個人消費にも好影響を与えてきました。

また、雇用情勢の改善により、女性、若年、高齢者を中心に就業率が上昇したものの、製造業の人手不足感はより一層高まりましたが、第 4 四半期には中国経済の減速などにより輸出や生産など一部に弱さも見られるようになってきました。

市工連では、人材確保支援として、これまで高校生の採用を目的とした就職懇談会や大学との連携による大学生向けの就職説明会などにも取り組んできました。また、製造業への理解を深めてもらう出前講座と工場見学をバスを利用して一体的に実施し、多くの方に参加していただけるようになりました。そのほか、新入社員合同研修、若手社員フォローアップ研修を実施し、人材育成や離職防止の支援にも取り組みました。

これらに加え、平成 29 年度からは新たに技能資格の習得を支援することで、技術者育成と併せて人材確保の支援にも取り組みました。

また、工業技術見本市「テクニカルショウヨコハマ」の規模拡大の効果が高まるよう工夫するなど、これまで以上に販路拡大に取り組むとともに、会員企業の新たな活力を生み出す会員交流事業として会員情報交換会に加え、施設見学会・懇親会の開催、新年賀詞交歓会の参加者の範囲拡大など、会員相互の情報交換の機会を増やしてまいりました。

施設管理の面では、鳥浜試作型貸しスペース（T 3）において、照明設備の LED 化の工事を行いました。

I ものづくり活性化事業

1 基盤整備事業（産業振興に関する課題の掌握、提言、対応策の実施）

（1）市工連委員会の活動（総務、政策、事業・企画、広報・産学、雇用・環境の 5 委員会）

地域工業会代表が意見交換をおこない、課題解決に反映されるよう各委員会を開催しました。

5 委員会の開催延べ回数：8 回

（委員会別開催実績等は V の総会、理事会、委員会等のとおり）

（2）横浜市と当連合会との施策検討会の運営

横浜市の中小企業振興策の立案・実施に向け、行政とともに具体的、かつ実効性の高い施策検討協議をおこないました。

（3）産業振興に関する提言、調査、研究

行政機関等の産業振興施策に反映されるよう、前記（2）の施策検討会を活用し、ものづくりをはじめとした振興施策、企業経営及び立地環境の改善等に関する意見・要望を集約し、林 文子横浜市長に「平成 30 年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望書」として提出しました。

ア 提出日 平成 30 年 10 月 30 日（火）

イ 場 所 市庁舎 2F 応接室

ウ 出席者 横浜市長、経済局長、市工連会長、各地域工業会会長ほか

エ 要望書概要

(ア) 重点要望事項 2 件

- ・ 住工共生を踏まえたものづくり産業の操業環境の向上と工業系地域の維持
- ・ 中小企業人材不足への対応

(イ) 一般要望事項 18 件

2 ものづくりネットワーク形成促進事業

新事業展開や新製品開発、受発注機会の拡大を支援するため、情報交換会・商談会を開催しました。また、常時、会員企業からの受発注等に関する相談に応えるとともに、情報提供をおこなうなど、市内製造業のネットワークづくりを促進しました。

(1) 受発注相談（電話・FAX・Eメール等による受発注相談）

相談件数：13 件

(2) 商談会等の開催

ア 平成 30 年度 川崎ものづくり商談会（川崎会場）

(ア) 日 時 平成 30 年 9 月 20 日（水）10：00～16：50

(イ) 会 場 川崎市産業振興会館

(ウ) 主 催 (公財) 神奈川産業振興センター、(公財) 川崎市産業振興財団、川崎市、川崎商工会議所、川崎信用金庫、(一社) 横浜市工業会連合会、横浜市

(エ) 参加社数 260 社（前年度：246 社）

発注：64 社うち横浜市内企業 25 社（前年度：52 社・16 社）

受注：196 社うち横浜市内企業 56 社（前年度：194 社・48 社）

(オ) 商談件数 1,001 件（前年度：848 件）

(カ) 内 容 発注案件を事前にホームページで公表して、受注企業を募集しました。

イ 受・発注商談会 in 横浜 2019（横浜会場）

(ア) 日 時 平成 31 年 2 月 6 日（水）10：00～16：00

(イ) 会 場 パシフィコ横浜 2F アネックスホール

(ウ) 主 催 神奈川県／(公財) 神奈川産業振興センター／横浜市／(一社) 横浜市工業会連合会／川崎市／(公財) 川崎市産業振興財団／横浜信用金庫

(エ) 参加社数 379 社（前年度：382 社）

発注：98 社うち横浜市内企業 24 社（前年度：87 社・32 社）

受注：281 社うち横浜市内企業 103 社（前年度：295 社・81 社）

(オ) 商談件数 1,190 件（前年度：1,247 件）

(カ) 内 容 発注案件を事前にホームページで公表して受注企業を募集しました。また、昨年より商談時間を 2 分短縮するとともに、商談会数も 1 回減らし、テクニカルショウヨコハマ展示会場での商談にあてました。

(3) 横浜ネットワークプラス（受発注情報システム）の運営

横浜ネットワークプラス（受注・発注マッチングサイト）で、受けた案件を横浜ネットワークプラスに登録・公開するとともに、受注情報や企業検索ができるシステムを運営しています。

3 第40回工業技術見本市「テクニカルショウヨコハマ2019」

節目となる第40回を迎えた「テクニカルショウヨコハマ2019」では、記念の講演・セミナーなどの多彩な併催行事を開催したほか、「ロボット」、「IoT」の特設ゾーンや「加工技術」、「機械・装置・製品」、「研究開発」、「ビジネス支援」の各ゾーンで、技術革新、商品開発に積極的に取り組んでいる企業の、独創性・先進性に富んだ最新の技術・製品や研究成果などを幅広くPRしました。

(1) 開催概要

- ア 開催期間 平成31年2月6日（水）～2月8日（金）3日間
- イ 会場 パシフィコ横浜展示ホールA・B・C
- ウ 出展数 806社・団体（前年度：800社・団体）
- エ 小間数 643小間（前年度：621小間）
- オ 入場者数 35,354人（前年度：36,056人）

(2) 横浜ものづくりゾーンの開設

横浜市や各区が実施する中小製造業振興のための様々な施策の紹介や、その施策を活用した企業の技術を周知することを目的に、テクニカルショウヨコハマ2019に「横浜ものづくりゾーン」を開設し、地域工業会や横浜青年経営者会が団体として出展しました。

横浜ものづくりゾーン 出展企業 84社・団体（前年度：88社・団体）

（個別応募企業：11社、金沢区工業団体連絡会：4社、横浜青年経営者会：8社、メイドインつづき：33社、港北オープンファクトリー：3社、横浜市補助金交付企業他16社、行政：9団体）

4 ものづくり人材育成支援事業

(1) 新入社員合同研修

企業の社新入社員を対象に、講義及び「帆船日本丸」における実践訓練を通し、新入社員の忍耐力や協調性、などを養い、企業の将来を託せる人材の育成を図りました。

- ア 開催日 平成30年4月12日（木）～13日（金）（1泊2日）
- イ 会場 帆船日本丸、同訓練センター等
- ウ 参加者 20社 69名（男性55名 女性14名）
（前年度参加者：17社 67名（男性47名 女性20名））

エ 内容

- ①船上訓練（甲板磨き、登檣、結索）・洋上訓練（漕艇）
指導者：日本丸船長、航海士、乗組員
- ②講義・実践研修
ビジネスマナー研修を通し社会人としての意識を持つ
講師：株式会社パワー・アイ 佐々木 富美子氏
- ③講義「海に学ぶ（シーマンシップについて）」

講 師：日本丸船長 飯田 敏夫氏

(2) 新入社員等若手社員のフォローアップ研修会の開催

新入社員から入社5年目までの若手社員を対象に、入社後を振り返り身につけた能力を検証し、不足しているところと今後の課題を見つけ、これからの仕事へのヒントを学ぶフォローアップ研修会を開催しました。

- ア 日 時 平成30年11月7日(木) 9:00~17:30
- イ 会 場 横浜産貿ホール 小展示室
- ウ 参加者 4社7名(男性6名 女性1名)
- エ 講 師 株式会社パワー・アイ 佐々木 富美子氏
- オ 内 容 ①入社後の自身の振り返り(自分の仕事の進め方の再認識)
②入社後の職場の振り返り(仕事の問題点の克服と共有)
③クレーム対応の実践(ビジネスマナーに基づく話し方の再認識)
④ハイポイントインタビュー(自身の強み、課題を客観的に認識する)
⑤「信念を言葉化」し「自分なりの良い仕事」の意味づけを明確化

(3) 就職に関する懇談会の開催

神奈川県内の高校生等の地元中小企業への就職を促進するため、県内高校等関係者と企業との就職に関する懇談会をハローワークと共催して開催しました。

- ア 日 時 平成30年6月12日(火) 14:00~17:45
- イ 会 場 神奈川中小企業センタービル 14F 多目的ホール
- ウ 参加者 神奈川県立磯子工業高校 等 16校 23名(前年度:20校 29名)
会員企業等 50社 65名(前年度:49社 63名)
- エ 成果についてのアンケート
実施日 平成31年2月
50社にFAX送付
結 果 回答37社、事後接触あり40件、うち採用内定予定あり15件、
(前年度:事後接触あり88件、うち採用予定あり31件)

(4) 出前講座の開催

神奈川県立東部総合職業技術校の訓練生に対し、ものづくり産業・中小製造業の果たしている役割や、中小企業が求める人材などについて話す講座を、2回開催しました。

[第1回]

- ア 実施校：神奈川県立東部総合職業技術校
- イ 開催日：平成30年5月30日(水) 13:00~14:00
- ウ 対象者：55名(チャレンジプロダクトコース、セレクトプロダクトコース、溶接・板金・電気の各コース)
- エ 講師及びテーマ
 - ・株式会社 スリーハイ 代表取締役 男澤 誠氏
テーマ：「企業から見た採用したい人材、採用したくない人材」
 - ・横浜高周波工業株式会社 第一営業課 蒲 雄一郎氏
テーマ：自分の体験談

[第2回]

- ア 実施校：神奈川県立東部総合職業技術校
- イ 開催日：平成30年11月28日（水）9：50～11：20
- ウ 対象者：49名（チャレンジプロダクトコース、セレクトプロダクトコース、溶接・板金・電気の各コース）
- エ 講師：株式会社 オウミ 代表取締役社長 中島 和紀氏
工場見学と同時開催

(5) 工場見学会の開催

学校関係者の中小製造業に対する理解を深め、人材の確保と後継者の育成を図るため、横浜市と連携し就職指導教員と学生を対象に、市内企業の工場見学会を実施しました。

- ア 実施事業所：株式会社オウミ
- イ 所在地：横浜市都筑区東山田4-33-17
- ウ 参加校：神奈川県立東部総合職業技術校
- エ 訪問日：平成30年11月28日（水）
- オ 時間：10：50～11：30
- カ 参加者：49名（チャレンジプロダクトコース、セレクトプロダクトコース、溶接・板金・電気の各コースの訓練生43名、職員6名）、関係者4名、合計53名（市工連3名、横浜市1名）

(6) ものづくり企業紹介フェアの開催

神奈川県内の高校生に対し、第40回工業技術見本市 テクニカルショウヨコハマ2019の開催に合わせ、中小企業や製造業、自社の様子について、企業経営者に講演していただいた後、テクニカルショウヨコハマを見学し、中小企業や製造業に対する理解を深めてもらい、進路を決定していく上での参考になるフェアを開催しました。

- ア 開催日時：平成31年2月7日（木）9：00～
- イ 参加校：神奈川県立商工高校1年生 参加者：228名 引率教諭：12名
- ウ 講演者及びテーマ
 - ・講演者 社会保険労務士事務所 古間屋 中山 貴義氏
テーマ 「労働法から『働く』という意味を考える」
 - ・講演者 株式会社関東精密 代表取締役 杉田 勇氏
テーマ 「真剣だからこそ楽しい」

(7) 技術者育成支援事業

中小製造業者がその従業員に、技術水準の向上、技能・技術の承継を推進し、中小製造業者における人材確保及び人材育成に資することを目的として、業務上必要な技能検定資格取得のための受検料を、補助金として交付しました。

補助金交付企業 8社

(8) 横浜市就職サポートセンター事業への協力

横浜市経済局雇用労働課が実施する「横浜市就職サポートセンター事業」に協力

し、インターンシップ受入れを会員企業に呼びかけ、若年層の雇用に結びつけました。

ア 求人企業数 87 社うち市工連会員企業 35 社

イ 採用決定人数 150 名うち市工連会員企業 10 社 13 名
(前年度採用実績：15 名)

(9) 関東学院大学学内企業説明会

関東学院大学の平成 2020 年 3 月卒業生に向け、「地元で就職しよう！」をテーマに第 1 回学内合同企業説明会（地元企業 DAY）を開催するにあたり、市工連会員企業を募集し参加しました。

ア 日 時：平成 31 年 3 月 11 日(月)

＜午前＞ 9:00～12:20 ＜午後＞12:50～16:10

イ 会 場：関東学院大学 金沢八景キャンパス フォーサイト 21

ウ 参加者：関東学院大学 3 年生 103 名

エ 参加企業：神奈川県内企業 90 社 うち市工連募集企業 13 社

5 会員企業の交流

会員経営者同士が集まり語り合える機会をつくるために、情報交換会や施設見学会・懇親会を開催しました。

(1) 北仲通地区・新市庁舎建設現場見学会、懇談会

ア 日 時 平成 30 年 5 月 18 日 (金) 15:30～

イ 会 場 横浜アイランドタワー、新市庁舎建設現場

ウ 参加者 市工連役員・委員等 19 名 (市工連事務局 3 名含む)

エ 内 容 事業概要、周辺環境の説明及び現場の進捗状況、
新市庁舎建設現場視察

(2) 会員情報交換会

ア 開催日 平成 30 年 7 月 25 日(火) 18:00～19:30

イ 会 場 ホテル横浜ガーデン

ウ 参加者 69 名

エ 報 告 ヨコハマメーカーズヴィレッジ

「ミラノサローネ 2018」出展報告

株式会社オースズ 代表取締役 鈴木 瑞貴氏

ハローワーク横浜

「高等学校新規学卒者の採用について」

学卒第一部門 統括職業指導官 出浦 明紀氏

横浜市経済局

「横浜市の就職情報サイトの活用支援事業」

経済局ものづくり支援課 担当係長 矢野 虎鉄氏

(3) 横浜環状南線工事現場見学会・懇親会

ア 開催日 平成 30 年 10 月 23 日 (火) 13:30～

イ 内 容 横浜環状南線工事現場見学(釜利谷工事区、庄戸工事区、上郷桂台工

事区、栄 IC・JCT)

エ 参加者 市工連役員・委員等 15 名(市工連事務局 3 名含む)

6 情報発信事業

(1) インターネットを活用した情報提供

ア ホームページの運営

タイムリーに会員のための情報提供に努めました。

イ メールマガジン「市工連ニュース」の配信

平成 30 年 4 月 2 日 第 398 号から

平成 31 年 3 月 15 日 第 420 号まで 23 回配信

配信先 工業会会員等約 1,430 件

(2) 機関誌等の発行

ア 機関誌「よこはま市工連」の発行

年間 2 回発行

平成 30 年 7 月 (78 号) 2,400 部

平成 31 年 1 月 (79 号) 2,400 部

イ 広報紙「市工連かわらばん」の発行

年間 6 回発行 各回 2,600 部配布

平成 30 年 5 月 (170 号) から 31 年 3 月 (175 号) まで奇数月発行

(3) 一斉ファックス・メールマガジンでの情報発信

全会員へのお知らせや周知のために、一斉 F A X やメールマガジンのツールを利用し情報の発信に努めました。

II 産業振興施設の管理運営

1 横浜産貿ホールの管理・運営事業

産貿ホール開設から 40 余年が過ぎ不備が目立ってきたため、使用者の利便性と安全を図るため、神奈川県、横浜市の協力のもと、スプリンクラー及び、排水管の全面取換工事を行いました。引き続き計画的に修繕を行って、利用しやすい施設を目指してまいります。

2 鳥浜・試作型貸スペース (T 3) 事業

前年度に引き続き 3 事業所 5 室の満室を維持し、安定運営ができました。また、使用者の利便性を図るため、施設内の照明の L E D 化を検討し市工連会員企業に入札参加を呼びかけ 5 社が応札し、平成 31 年 2 月に工事が完了いたしました。

III 相互扶助事業

市工連を構成する 10 の地域工業会・事業会と横浜青年経営者会に対し活動助成を行い、支援に力を入れました。また、「災害共済」、「労災保険」等会員企業や従事者を対象とした各種福利厚生事業を行いました。さらに、製造物責任法による企業の賠償責任に対応するため、本会独自の P L 保険の加入促進を図りました。

1 地域工業会・事業会の活動支援

前年度と同様に 10 の地域工業会・事業会に対し、広報活動助成と活動支援助成（特例分）として、11 万円の助成を行いました。

2 横浜青年経営者会の活動支援

横浜青年経営者会へ助成金を交付しました。

3 すぐれたアイデア提案者表彰

各企業において、技術開発、生産性の向上、経費節減等で「すぐれたアイデア」を提案し、企業の発展に貢献した従業員を市工連賀詞交歓会の席上で表彰しました。

ア 表彰日 平成 31 年 1 月 10 日（木）

イ 会 場 ホテル横浜ガーデン

ウ 被表彰者 4 社 5 名

IV 法人運営

総会、理事会の開催など団体運営に努めました。

V 総会、理事会、委員会等

1 総会

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
6 月 19 日 (火)	定時総会	・平成 29 年度事業報告について ・平成 29 年度決算報告について ・理事の選任について ・会長・副会長の選任について ・その他の報告	ホテル横浜ガーデン
31 年 3 月 25 日 (月)	定時総会	・平成 31 年度事業計画（案）について ・平成 31 年度予算（案）について ・就業規則の改正について ・その他	産業貿易センター 801 会議室

2 理事会、会長会議、各委員会等

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
5 月 15 日 (火)	広報・産学委員会	・よこはま市工連第 78 号発刊計画について ・よこはま市工連第 78 号掲載内容について ・広報関係の実績について ・その他	横浜産貿ホール 小展示室
6 月 4 日 (月)	総務委員会	・平成 30 年度第 1 回理事会・定時総会、第 2 回理事会の議案について ・平成 29 年度事業報告について ・平成 29 年度決算について	横浜産貿ホール 小展示室

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
6月4日 (月)	総務委員会	・理事の選任について ・会長・副会長の選任について ・その他報告	
6月6日 (水)	事業・企画 雇用・環境 合同委員会	・「ものづくり人材育成支援事業」実施報告 ・「ものづくり人材育成支援事業」今後の予定 ・平成30年度 会員情報交換会について ・「第35回すぐれたアイディア提案者」の推薦について ・その他	横浜産貿ホール 小展示室
6月8日 (金)	政策委員会	・平成30年度横浜市に対する予算要望の回答について ・平成31年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望書の策定スケジュールについて ・その他報告	小展示室
6月19日 (火)	第1回理事会	・平成29年度事業報告について ・平成29年度決算報告について ・理事の選任について ・会長・副会長の選任について ・その他の報告	ホテル横浜ガーデン
8月1日 (水)～ 9月25日 (火)	施策検討会	横浜市課長職以下7人地域工業会推薦16人 政策委員5人、IDEC4人 全体会3回、分会2回 計5回開催 横浜市予算への要望項目の検討	メディアビジネス センター 大会議室
10月10日 (水)	政策委員会	・平成30年度施策検討会報告 施策検討会の開催状況について 等 ・2019年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望について ・その他	横浜産貿ホール 小展示室
11月15日 (火)	広報・産学委員会	・よこはま市工連第79号発刊計画について ・よこはま市工連第79号掲載内容について ・広報関係の実績について ・その他	横浜産貿ホール 小展示室
31年 3月18日 (月)	総務委員会	・2019年度事業計画（案）について ・2019年度予算（案）について ・就業規則の改正について ・その他	横浜産貿ホール 小展示室
3月25日 (月)	理事会	・平成31年度事業計画（案）について ・平成31年度予算（案）について ・就業規則の改正について ・その他	産業貿易センター 801 会議室

3 新年賀詞交歓会

広く情報交換ができるよう、地域工業会会員企業に参加の呼びかけを行いました。

日 時 平成31年1月10日（木） 16:00～18:00

会 場 ホテル横浜ガーデン

参加者数 176名

4 地域工業会・事業会 事務局長会議

事務局長会議を開催し、市工連と地域工業会との情報交換・連携を図りました。

〈30年〉4月18日、5月16日、6月20日、7月19日、9月19日、10月17日、
11月21日、12月19日、〈31年〉2月20日、3月20日